

改定委員会、都市計画審議会、パブリックコメント、関係機関への意見照会での意見を踏まえ、下記のとおり修正し、(案)の作成を行った。

	修正箇所	修正内容	修正理由
1	第3章(39 ページ)	土地利用の誘導の方針について、説明文を追加。	「土地利用の誘導の方針について、拠点や都市軸などの目指すべき都市構造の中でも、メリハリのある方針を定め、地域特性を踏まえたまちづくりを進めるべき」との意見。(改定委員会)
2	第4章(46 ページ)	無電柱化の取り組み内容を「電柱の倒壊による道路閉塞を防ぐため、道路事業や再開業事業などのまちづくりにあわせて無電柱化を進めていきます。」に修正。	「区が主体的に無電柱化を進めていくと同時に、民間等による面的な開発事業においても無電柱化を進めていくことが効率的と考えられるため」との意見。(関係機関)
3	第4章(48 ページ)	「防災・復興」分野の記載に、停電への対応や発電設備等の設置に関する記載を追加。	「災害時の停電への対応を想定して避難所の機能を充実させる必要がある」との意見。(パブリックコメント)
4	第4章 (50、61、84、92 ページ)	各方針図で拠点を示す範囲については、都市再生緊急整備地域や構想・ビジョン等が策定されている区域がすべて含まれるように修正。	「都市再生緊急整備地域である大崎駅周辺地域は一体的にまちづくりを推進すべき地区だと考え、拠点等を示す各方針図では、大崎駅周辺地域の全域が同じ位置付となるよう見直すべき」との意見。(パブリックコメント)
5	第4章(51 ページ)	災害拠点病院、緊急医療救護所のマークを見やすく修正。	「安全確保と避難の図では、災害拠点病院等のマークをもう少しわかりやすくしてほしい」との意見。(改定委員会)
6	第4章(57 ページ)	「都市基盤」分野における取り組みの中に、「歩きたくなる、出かけたくなるウォーカブルな空間の形成」を追加。	「北品川駅前の整備にあわせて、天王洲アイル、品川浦、旧東海道から御殿山ガーデンへと繋がる東西の歩行者ネットワークについても構想に入れてはどうか」との意見。(パブリックコメント)
7	第4章(59 ページ)	「都市基盤」分野の具体的な取り組みを展開する個別計画として「品川区交通安全計画」を追加。	「交通安全の視点はマスタープランにあるのか」との意見。(都市計画審議会)
8	第4章(90 ページ)	空き家と予備軍となる住宅の所有者への取り組みについて記載。	「空き家について、65 歳以上の単身高齢者が住んでいる予備軍は、品川区が特別区で最も多い。空き家対策計画があるが、予備軍の問題は大きなものになる」との意見。(改定委員会)
9	第4章(91 ページ)	「都市生活と住まい」分野の具体的な取り組みを展開する個別計画として「品川区マンション管理適正化推進計画」を追加。	「空き家の増加やマンションの老朽化についてもっと力を入れて書くべき」との意見。(都市計画審議会)
10	第4章(95 ページ)	分野を超えた取り組みの連携「分野⑤(環境・エネルギー)」に、「コージェネレーションシステム等の導入」を追加。	「災害発生時の電力を確保するためには、電源の多重化を図ることが有効である」との意見。(パブリックコメント)
11	第5章(109 ページ)	旧東海道品川宿エリアに、「江戸時代の「町割」・「道筋」が保全された旧東海道では、…」という内容を追加。	「東海道周辺の江戸時代からの町割、道筋の重要性を十分にとりあげ、それを活用した「江戸町」のまちづくりを記載すべき」との意見。(パブリックコメント)
12	第5章(118 ページ)	大崎駅周辺エリアに、「特に大崎駅東口第4地区では、都市施設の立地特性を活かしてさらに拠点性の向上を図る」という内容を追加。	「大崎駅東口第4地区は、大崎駅・広域幹線道路に面する立地特性を活かし、大崎駅東口の更なる拠点性向上に向けた整備を想定しており、まちづくりの検討状況・方向性を踏まえ、より高度な拠点へ位置づけるべき」との意見。(パブリックコメント)
13	第5章(122 ページ)	五反田駅周辺エリアに、「五反田駅東口周辺地区では、駅へのアクセス性やふれあい水辺広場に至る歩行者ネットワークの強化、多様な都市機能の集積等により、新たな拠点地区の形成を図る」という内容を追加。	「東五反田二丁目7番地区周辺でまちづくりの検討を行っており、まちづくりの誘導・推進に向けて、新たな拠点への位置づけを希望する」との意見。(パブリックコメント)

14	第5章(122 ページ)	五反田駅周辺エリアに、「五反田バレー」の記載を追加。	「マスタープランに「五反田バレー」という文言が入るとより多くの方に五反田の特性が認知されることにつながるのではないか」との意見。(パブリックコメント)
15	第5章 (132、133 ページ)	レイアウトを変更し、歩行者ネットワーク図を大きく修正。	「大井町周辺エリアについて、新区庁舎の建替えの方針が示されているが、図も小さいので、もっとクローズアップしてはどうか」との意見。(改定委員会)
16	第6章(162 ページ)	データの活用によるまち・ひと・都市活動の分析について、事例を掲載。	「データの活用をした事例があるとよい」との意見。(改定委員会)
17	第6章(164 ページ)	マスタープランの進行管理に子ども・若者の視点を取り入れるため「マスタープランの進行管理」の中に「子ども・若者まちづくり委員会」を追加。	「魅力的な街づくりに貢献できるよう教育機関としても尽力していきたい」との意見。(パブリックコメント)
18	資料編(172 ページ)	学生に対するワークショップを実施したため、掲載。	「中学生向けの説明会など、若者の意見を取り入れる工夫をしたほうがよい」との意見。(都市計画審議会)
19	資料編(178 ページ)	「自立分散型エネルギー」の用語解説を追加。	「「自立分散型エネルギー」の説明がなく、意味が分かりづらい」との意見。(パブリックコメント)
20	概要版	対応関係がわかるよう修正。	「概要版の11～16ページの分野別の取組みのイラストに記載している数字の対応関係がわかりづらい」との意見。(改定委員会)
21	その他	学生に対するワークショップの様子と資料をホームページに公開。	「資料編の記載されている若者のワークショップで使用された資料を公開して、多くの学生とともに検討できたらよい」との意見。(改定委員会)
22	その他	ホームページで公開するPDF版の目次にリンク機能を付加予定。	「大量ページのPDFだと目的のページにすぐにたどり着かない」との意見。(改定委員会)